Vol. 1
Autumn
2022

笑顔つながる　学びひろがる　小学校英語応援ニューズレター

ONE WORLD Smiles だより

連　載　改めて考えたい　小学校英語で大切にしたいこと　第１回

ことばと心を育てる外国語教育を ―❶

「英語ぎらい」が生まれていませんか

小学校の外国語が教科になって３年が経とうとしています。指導法や教科書、デジタル教科書教材の活用においても、地域差や学校差が見られ、まだまだ試行錯誤の段階が続いていると言えそうです。

危惧されるのは、「読むこと・書くこと」が高学年で導入されたことで、語句や英文を読ませることや書かせることを急がせる傾向が見られることです。ペーパーテストとして評価しやすい「知識・技能」の指導が増え、単調なリピート練習が多くなり、「英語で表現する楽しさ」を十分に体験させられていない授業が増えているようにも感じられます。結果として、英語学習への興味が薄れ、苦手意識を持つ児童が生まれていないでしょうか。

改めて、小学校段階の外国語教育が目ざすところを考えてみたいと思います。

基礎となるのは「聞く力・話す力」の育成

まず、小学校の限られた授業時数や１クラスの人数を考えると、期待できるのは、あくまでも「基礎的な英語力の育成」ということです。外国語の習得は、簡単なものではないからです。

小学校では、言語習得理論およびこれまでの英語教育の反省に基づき、「音声としての英語に十分に慣れ親しみ、聞いたり話したりすること」が学習の中心です。そして、音声として慣れ親しんだ語句や英文を、文字として捉える基本を学ぶことが、小学校段階の英語教育です。それ以上は、中学校で本格的に学ぶということを押さえておく必要があります。教科書もこれに基づき、文字を頼りにしなくても、音声や映像によって「英語を理解する・しようとする力」を育てられるように構成されています。

小学校中学年から少しずつ英語の音声に慣れ親しむことで、音声受容語彙（音声として聞き取れる語句等）が多い、簡単な英語での発話活動等にも慣れているという点において、入学時の英語力に変化があるということは、中学校の英語教員からよく聞かれるところです。

「読むこと・書くこと」の能力は、子どもより大人のほうが効率よく身につくというデータもあります。教師や保護者が、単語テストやペーパーテストなどで目に見える成果を求めたくなってしまう気持ちはわかりますが、大学入学共通テストでリスニングの配点が２倍に、逆に、リーディングの配点が半分になっていることからもわかるように、小学校から高校までを通して求められているのは、文字言語としてだけでなく、音声言語としての英語力の育成です。長期的な視野で、英語力の基礎となる「聞く力・話す力」を十分に育てることを意識したいものです。

もちろん、文字に興味を持つのも自然なことですから、子どもの意欲や実態に合わせて段階的に指導していくことも大切です。あせらず、じっくり取り組みましょう。

「どんな児童を育てたいか」を持っていますか

小学校は民間の英語教室や塾とは異なります。授業を通して「どんな児童に育てたいのか」、小学校の先生であればその答えを持っているはずです。相手のことを思い、気持ちを込め、ことばを大切にしながら表現する「ことばの授業」。それが結果的に、英語力の育成にもつながっていくのです。

（次回へ続く）

文教大学教授
金森（かなもり）　強（つよし）
ONE WORLD Smiles
代表著者

連 載　すぐに役立つ活動集　第１回

クラスがもっと仲良くなる　おすすめアクティビティ

熊本市立飽田東（あきたひがし）小学校　外国語専科　前田陽子

はじめに

「なんか音楽みたいに聞こえる！」

これは、英語の音声に思わずつぶやいた子どものことばです。私にとって、授業中の子どもたちのつぶやきは宝物です。つぶやきや表情のなかに垣間見られる子どもたちの本音や気づきこそ、日々の授業を見直し工夫する機会となるからです。よきファシリテーター、コミュニケーターとして、一人ひとりの学びを支え、確かなものにするためにも、日々の活動における子どもたちの反応に一喜一憂しています。

そのようななかで、今回は「友達と仲良くなれた気がする！」「一緒に学ぶって楽しい！」と感じることができた活動を紹介します。

1. 自分の誕生月で“Stand Up!”（誕生日の歌）

５年生 Lesson 2　When is your birthday? の学習では、“12 Months Of The Year”＊の歌が大活躍です。なぜなら、ノリノリのリズムで、２回、曲の繰り返しがあるからです。

使うタイミングは、誕生月の言い方を知り、まだ聞き慣れないぐらいの時がチャンスです。単元の２時間目、初めて曲を流すと、前奏からもうノリノリです。指導者は、曲名も何も伝えずにまず曲を聞かせます。すると、子どもたちはじっと耳をすませ、「あっ、誕生日の歌だ！」とつぶやきました。数人がもう歌いたくてたまらない様子です。「僕の月がまだ出てこない。」「１月、２月、３月……って順に歌ってるだけじゃん！」つぶやきが少しずつ増えてきます。ほんのわずかな間奏でも、直前で聞こえた月の名前を楽しそうにリフレインする姿もありました。

２回目に曲を流す時は、

「自分の誕生日の月が聞こえたら、手を挙げてね！」

３回目では、自分の誕生日のところで

“Please stand up.”

のように、少しずつ動きを変えていくようにします。

終盤では、

「誕生日のある月の時だけ、一緒に歌おう！」

と伝え、少しずつ声に出させるようにします。

＊同曲は市販品『歌っておぼえる　らくらくイングリッシュ１』（成美堂）にも収録。

自分の誕生月が聞こえて立ち上がる子どもたち。いつの間にか何度も歌を聞き慣れることにも。

この活動は子どもたちが大好きで、“Ms. Maeda, one more time, please!”と何度もせがまれました。

繰り返していくうちに、同じ誕生月の子どもたち同士で誕生月を確認しあったり、「〇〇ちゃん、５月生まれなんだね。」など、新しくクラスメートになった友達のことを知ったりと、歌を通してクラス全体が心があたたかになる活動となりました。

2.「仲良しカルタ」でニッコリ“Here!”

カルタと言えば個人勝負で行うことが多いですが、私は班で仲良くカードを見つける「仲良しカルタ」をおすすめします。どの学年のどの単元でも、いろいろな語彙のカードを使って、楽しむことができます。

例えば、６年 L5　What country do you want to visit? では、単元のはじめに、国名や各国の名物などを学習する際に活用できます。カルタ遊び同様、カードを机に広げます。指導者が例えば“Brazil”と札を読みます。子どもたちは、その絵カードを見つけたら、“Here!”と言って、人差し指をカードの上に置きます。班のメンバー全員がカードに指を置けたら、目を合わせ、みんなで“All right!”と言います。

ひとりが「取る」のではなく、みんなでタッチ！

使う語句を全員で確認せずに、カルタから始めても、班の友達と一緒に考え、内容を確かめ合う場も生まれます。子どもたちは自然と笑顔になっていました。

3. 班で仲良く「Go Fish ゲーム」!

「Go Fish ゲーム」も、子どもたちが仲良く言葉をやり取りすることができる活動です。４人グループごとに、ペアになる絵カードを 50 枚ほど準備し、ひとり４枚、カードを持ちます。ほしいカードを伝え合いながら、手持ちのカードとペアになるカードをできるだけ集めるゲームです。

私は、５年生の、誕生日にほしいものを尋ね合う活動の前に「アルファベット小文字の復習」として取り入れました。このとき、ほしいものをやり取りする英語表現を、ゲームのなかで使うようにします。

“What do you want?” → “〇〇さん、I want □”.
“This is for you.” → “Thank you.”
→ “Thank you. (My pleasure.)”
（相手がほしいカードを持っていた場合）

続けるうちに、子どもたちは「相手が何をほしがっているかを聞くことが大切」と気づき始め、自然と話す人の声に耳を傾けるようになります。また、自分が話す番では、“〇〇さん、I want □.” と、ニッコリほほ笑みながら話しかける姿が見られました。

復習はもちろん、いろいろな単元の学習中でも、この「Go Fish ゲーム」は役に立つと思います。

ほしいカードを相手が持っていればもらう。
なければ "Go fish." となり、中央のカードの束から１枚取る。

4. プロジェクト型の学習でお互いの良さを知る

他教科と同様、外国語の授業でも、ゴールを設定したプロジェクト活動は、協働的な学びが生まれ、互いの良さを知り合う学習となります。

私は「新しく来日する ALT のオリバー先生に、熊本の魅力を伝えよう！」というパフォーマンス課題を設定し、以下のように取り組みました。

①グループ４人で伝えたいテーマを考える。
②魅力が伝わる写真を選ぶ。
③どんな英語表現を使うか考えたり調べたりする。
④伝え方を４人で練習する。
⑤協力しながらグリーンバッグで動画を撮影する。
⑥撮影を見直し、編集する。
⑦クラス全体で試写会をする。
⑧発表について、互いの良さを伝え合う。

プロジェクトの過程では、意見がぶつかり合うこともあります。しかしその場合も、考えや思いを聴き合い、壁を乗り越えながら活動を進めるうちに、協力の大切さや、ふだんあまり一緒に遊ばない友達との仲も深まることが多いようです。

5. 先生方も協働プロジェクトで仲良くなる!

左記４と同様に、先生方も「オリバー先生に熊本を紹介しよう！」プロジェクトに取り組みました。夏休みの校内研修の機会に、６年生が行う活動と同じように取り組んでいただき、異学年の先生方が一緒に、楽しみながら動画を作成できたことが大きな成果でした。「オリバー先生に熊本を楽しんでほしい！」という心がこもった PR 動画は、６年生への参考作品としても活用しました。もちろん、来日したオリバー先生とも、すぐに仲良くなることができました。

動画を撮影し合う先生方

おわりに

子どもたちは、「英語」という、ふだん使わない言語で交流するなかで、わからなさや困り感があっても自然に尋ね合い、助け合い、頼り合うことができます。指導者はそんな子どもたちの姿に、一人ひとりの良さを見出すうれしさを味わいます。そのような指導者自身の気持ちを子どもたちに伝えることで、学級は、さらに心地よい居場所となるに違いありません。

Smiles' Park 全国の先生方のひと工夫を紹介します！

友達の夢を読んで応援メッセージを！（6 年 Lesson 8 What do you want to be?　将来の夢）

uezu_ikuko ＊

卒業式に向けて、目的をもった書く活動・読む活動になるよう、以下の手順で取り組みました。①将来の夢について話し、深め合う。②自分の夢やその理由などを発表する。③巻末の風船型ワークシートに英語で書く。④風船ワークシートを読み合い、応援メッセージを（日本語で）書いて渡し合う。⑤風船ワークシートと応援メッセージをデコレーションする（左）。⑥卒業式会場に掲示する。

応援メッセージを書く際の視点は、①読んでわかったこと、②伝えたい応援メッセージとし、評価は「読むこと」の【思考・判断・表現】で行いました。

提供：上江洲（うえず）育子先生
（沖縄県中頭郡中城（なかぐすく）村立中城南（なかぐすくみなみ）小学校教諭）

＃書くこと　＃読むこと　＃将来の夢

Information

◆ 学習者用デジタル教科書の使い方がわかる！

授業活用例の動画をウエブサイトにアップしています。
ご活用ください。
https://d-support.kyoiku-shuppan.co.jp/manual
「授業活用案　学習者用デジタル 教科書」のコーナーから「英語」を選択ください。

◆ LINE 公式アカウントを始めました！

教育出版から、日々のご指導のお役に立つ教育情報や教科コンテンツをタイムリーにお届けします。

友だち登録をお願いします！

◆ 英語のプロジェクト学習がわかる

新刊『教室から世界へ羽ばたく　英語プロジェクト型学習』は、児童生徒が主体的に学習に取り組む、プロジェクト学習の理論と実践をわかりやすく紹介しています。

金森 強編著
B5 判 /168 ページ
定価 2,200 円（本体 2,000 円＋税）

教育出版
〒 135-0063　東京都江東区有明 3-4-10 TFT ビル西館
TEL:03-5579-6278（代表）
https://www.kyoiku-shuppan.co.jp

こちらから
弊社小学校英語サイトに
アクセスできます。

本資料は、文部科学省による「教科書採択の公正確保について」に基づき、
一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」にのっとり、配布を許可されているものです。

2022 年 9 月発行